

天の魚湧く豊饒の海：が沈黙した。
深い沈黙から今起ちあがる
未生のことばの祝祭！



Minamata Now!

2011年4月2日(土) 14:00 ~ (受付開始 13:30)

池上實相寺 東急東横線 池上駅より徒歩15分 / 地下鉄都営浅草線 西馬込駅より徒歩10分 / 東急バス(五反田⇄川崎駅)「本門寺裏」下車 徒歩2分

前売 3,000円 当日 3,200円

問合&申込先 minamata_now@yahoo.co.jp

主催 すいかよう会

協賛 ココ出版、最首悟塾



野に咲く花がたとえ枯れ落ちてても
希望の種は生き続けている

傷ついた心が哭きつづけても
生きている今日が明日を拓く
生きていく命が明日を変える…

「1968」という私の歌の歌詞です。私たちの豊かさやむやみに消費社会が汚し、破壊したのは海だけではなく、神様からのいただき物に支えられていた日本の暮しの尊さだったと思います。水俣の物語はその失われた過去から知らされる人としての大きさです。その感動に是非ふれてください。

加藤登紀子 (かとうときこ)

プロフィール

1943年生。65年東京大学在学中に歌手デビュー。71年「知床旅情」でレコード大賞歌唱賞受賞。近年、千葉県の「鴨川自然王国」を拠点に循環型社会の実現へ向けた活動を行う。『青い月のバラード』など著書多数。



応援歌

不知火海の浜辺の老漁師が胎児性水俣病の孫の行く末を案じながら、みずからの一生を振り返り語ってゆきます。貧しいながら天然自然のなかで夫婦で魚をとらせていただく。その至福の思い出の中から、「いのち」が浮かび上がってくるのです。

「いのち」のただなかに居ながら、「いのち」を忘れ、「いのち」を無視して「ゆたかさ」を追求する。その「むなしさ」をまた「いのち」が知らせる。20世紀の科学技術の進歩は同時に病いであることを水俣病を通して、「いのち」は発信しているのです。

最首 悟 (さいしゅ さとる)

プロフィール

1936年生。東京大学理学部博士課程を中退。77年、第一次不知火海総合学術調査団に参加。81年、第二次調査団団長を務める。恵泉女子大学講師、和光大学名誉教授などを歴任。『星子が居る』など著書多数。



全体趣旨

2010年皐月“ルワンダ応援祭り”につづき、今年も昨春とおなじあの優艶な池上の實相寺さんをお借りし、さらに卯月の桜の花の下で“水俣言祝祭り”を開催します。多文化共生が錦の御旗のごと抗いがたく地球規模で謳われる今、水俣のつきつけてくる複合汚染についての問いを避けてとおるわけにはいきません。多様な化学物質が新たな力を獲得して人類が何百万年とかけて作り上げてきた頭脳や生殖器のフィルターをやすやすと通りぬけていくのが水俣病、等。そう、水俣病は固有名詞ではなく、多様性とつき合う現代人に均しく与えられた挑戦なのです。半世紀間、水俣を記録、記憶してきた写真たち、重複障碍をもつ娘さんとともに水俣の水際を深い思索とともに歩んで来られた最首悟さん、そして「小さな舟一艘、かかあ一人を持つこと」を希いとする漁師の一人語りを演ずる『天の魚』、なにより最後のだご汁の饗宴までたっぷり豊饒な沈黙の海から引きあげられたことばとさかなをご供覧あれ！（春原憲一郎）

知る

「ミナマタ」写真
パネル展示

14:00～

「水俣病」と聞いて思い出すのは、小学校の社会科の授業で習ったというおぼろげな記憶だ、という方も多いのではないでしょうか。「ミナマタ」を撮影し続けた写真家の方々や、支援活動が続いている方々のご協力を得た展示により、「ミナマタ」のこれまでの歩みを振り返り、改めてどんな病気で今なお何が起きているのかをご紹介します予定。

【写真家】桑原史成／宮本成美／小柴一良

観る

甦る伝説の一人芝居
『天の魚』

18:20～

石牟礼道子作『苦海浄土』の中の1章をもとに、砂田明さんが脚色・構成した伝説の一人芝居です。1979年水俣に始まった上演は、全国各地を巡演し、556回に及んだものの、92年に砂田さんが病に斃れて以後、長く途絶えていました。2007年9月、弟子でもある俳優・川島宏知さんが復活。池上實相寺本堂（パワースポット！）で、胎児性水俣病の孫を持つ年寄いた漁師の語り甦ります。

語る

対談「沈黙から立ちあがることば」
最首 悟 × 春原憲一郎

16:30～

不知火海総合学術調査以来ずっと水俣にかかわってきた最首さんに、水俣全史について個人的なエピソードを交えて子どもたちにも伝わるようわかり易く話していただきます。豊かな海を染め抜いた沈黙…そこからいかに多くの人たちが必死になって外部へ、次の世代へ届くようにと言葉を紡ぎつづけているか。おひとりおひとりの患者さんのこと、石牟礼道子さんのこと、多くの化学物資による複合汚染のことをていねいにお聞きします。

喰う

みんなで交流！
～だご汁と高菜飯を片手に～

19:50～

この日の出来事を肴に参加者で語り合う時間です。初めて「ミナマタ」と出会った方も、長く付き合っている方も、お寺の広間で一緒に呑んだり食べたりいたしましょう。メニューは、熊本の郷土料理であるだご汁や高菜飯、さらにひつまぶしやおつまみを少々。ビールやお酒、アルコール苦手な方にはノンアルコールもご用意します。不知火の海は本来祝祭に満ちている、そんな時間をご一緒しませんか！